

発 行 所

〒793-8555
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教
電話 (0897) 55-4044

5・6月号

頂上社開門
新緑の
お山へ!!



令和七年四月五日 春季例大祭 お稚児行列

道

近年、習慣にしようとして務めていた小さな事があります。一年ほど前からなので、まだおぼつかないのですが、感謝は現在形で伝えたい。

「有難うございます。」現場に臨んでは勿論のこと、過去の事も、「昨日は有難うございます。」「先月は有難うございます。」聞いた方々は、おかしな日本語だな、と思われるかも知れません。しかし、ご恩を忘れず、感謝のご縁をいつまでも繋ぎ続けていたい。時間の経過は関係ない、と思いたいのです。

日本は言葉の幸ふ国。感謝と笑顔には幸が寄ってくると言われています。自身が笑顔になれば、家族も周囲も笑顔になる。そう思っています。

武智

令和七年

靈峰石鎚山 開山千三百四十年

石鎚神社 列格百六十年

石鎚本教 創立八十周年

奉祝の慶年を迎えて

ここに謹んで、全国の石鎚信徒の皆さまにご案内を申し上げます。

本年、靈峰石鎚山は開山千三百四十年を迎えました。六八五年、靈峰石鎚は役行者により開山。爾來、弘法大師を始め、数々の高僧行者が御山で修行を重ねられました。

石鎚神社列格百六十年。明治初期の神仏分離に於いて、政府が「神社」と判断し列格。その神社列格の日こそが、現在の石鎚神社春例大祭を行う、四月五日でありました。

石鎚本教創立八十周年。戦後間も無い昭和二十一年に創立され、「修祓」「修行」「鎮魂」を三大教義として、所属教会の設立を広め、教師の養成を主体に、語る宗派ではなく、行動と体験の宗派として歳月を重ねてきました。

この三項は、石鎚大神様と靈峰石鎚を通じた長い歴史の中で、その全てが繋がっています。

この奉祝の慶年に、今秋十月五日には奉祝大祭、四日には記念式典を行うことが、去る四月四日の石鎚神社総代・石鎚本教評議員会にて決議され、奉祝実行委員会が結成されました。

石鎚信仰は元來が神仏混交。御山は修験道の道場、信徒には加持祈祷を行う方も多く、その山岳信仰の特殊性を生かし、石鎚信仰の布教教化体制の充実を図るべく、石鎚本

教は戦後の宗教法人法の制定に基づき創立されましたが、その実態は古來からの石鎚信仰のままでありました。

同時にその時代は終戦直後。日本の国は戦後の動乱の最中でありました。人心の混乱、悩み、苦しみ、不安、貧しさ。その中に、石鎚本教の教会が、石鎚神社の遥拝所、石鎚本教の講社が多数設立された事実は、人を救うため、未来を見つめる場所である為でありました。

その原点と歴史の重みに思いを至らし、決意を新たに今を生き、未来に繋いで行く。それこそが、周年事業の大きな意義であろうと思います。

是非とも、今秋の奉祝例大祭には、ご参列くださりますよう、謹んでご案内を申し上げます。

令和七年四月吉日

靈峰石鎚山 総本宮

石鎚神社 宮司

石鎚本教 管長

奉祝実行委員会 委員長

大教主 武智正人

委員長 平岡 明



靈峰石鎚山開山千三百四十年
石鎚神社 列格 百六十年
石鎚本教 創立 八十年

記念式典・奉祝大祭・会議日程

令和七年

八月二十日(水) 九時三十分

石鎚本教 教会聯合会 総会
石鎚神社總代会・石鎚本教評議
員会周年奉祝実行委員会
土小屋遥拝殿奉賛会理事会

十月四日(土) 十時

奉祝式典・記念表彰
奉納行事

十一時

日舞
神楽

十二時

奉納だんじり

十三時

祝賀会

十七時

宵宮祭

十月五日(日) 十時

奉祝大祭・秋季例大祭
奉納行事 舞楽「陵王」

後、御神輿・花神輿・樽神輿 巡行

御旅所祭

本殿著御後、御神像拝戴

神賑行事

餅投げ・福木投げ

お茶席(石鎚敬神婦人会)

十月六日(月) 十時

祖霊殿 秋季例大祭・合祀祭

十月七日(火) 九時

後宮祭

奉祝記念表彰

① 教会等級昇格 発令

② 本教功労章・金笏・銀笏・神鏡笏 発令

③ 周年 特別功労者表彰

④ 先進・教師 功労昇進 発令

⑤ 役員・教会長・遥拝所長 勤続者表彰

ア 神社役員十年以上(常務総代・氏子総代・神社総代)

イ 本教役員十年以上(本教理事・本教監査・評議員)

ウ 教会長・遥拝所長勤続 十年単位で二十年以上

右は、神社・本教から選出

⑥ 各崇敬組合・教区より

ア 組合・教区役員十年以上勤続の功労者

イ 組合長・教区長が推薦する組合・教区内功労者
(三名を目安)

ウ 組合長・教区長が推薦する講社

⑦ 各教会より

ア 教会責任役員 十年以上勤続の功労者

イ 教会総代 二十年以上勤続の功労者

ウ 教会長が推薦する教会内功労者(三名を目安)

⑧ 各遥拝所より

ア 遥拝所責任総代 二十年以上勤続の功労者

イ 遥拝所長が推薦する遥拝所内功労者(三名を目安)

右は、各団体が選出し、名簿を提出

霊峰石鎚山開山千三百四十年
石鎚神社 列格 百六十年 奉祝実行委員会
石鎚本教 創立 八十周年

一、本会は霊峰石鎚山開山千三百四十年・石鎚神社列格百六十年・石鎚本教創立八十周年、奉祝実行委員会と称し、事務局を愛媛県西条市西田甲797石鎚神社に置く。(以下、本会と称する。)

二、本会は、表記する記念の年を奉祝し、奉祝大祭及び記念式典事業を行う事を目的とする。

三、本会に次の役員を置く。

実行委員長 一名 石鎚神社筆頭常務総代・石鎚本教筆頭理事

実行副委員長 二名 常務総代・本教理事より一名
石鎚本教教会聯合会会長

顧問 一名 石鎚神社名譽宮司・石鎚本教名譽管長

参与 若干名 神社・本教 名譽顧問・参与

常任理事 若干名 石鎚神社常務総代・同氏子総代・石鎚本教理事

理事 若干名 崇敬組合長、宮司推薦総代、石鎚本教評議員、
教会長、遙拝所長、及び宮司管長が推薦する者

監査 二名 石鎚本教監査

実行委員長は、本会の事業を総括する。

実行副委員長は委員長を補佐し、委員長事故ある時は、その代理となる。

顧問及び参与は、必要に応じ、本会運営の相談にあたる。

常任理事は、本会会務の重要事項を審議する。

理事は、実行委員会に出席し、会議を審議する。

四、本会事業の計画、及び実行、奉祝大祭齋行、奉祝式典等の関連する祭典事業は、本会の運営にてこれを行う。

運営に関しては、石鎚神社宮司・石鎚本教管長の指揮を受けて行う。

五、本会に関する経費は、神社・本教の一般会計より支出すると共に、奉祝奉賛金を充当する。

六、残余金を生じた場合は、石鎚神社一般会計へ繰り入れるものとする。

七、本会は目的を達成した時点にて、解散するものとする。

八、本規約は、令和七年四月四日より施行する。

以上

奉祝実行委員会役員

令和七年 四月現在

実行委員長	筆頭常務総代・筆頭本教理事	平岡 明
副委員長	常務総代・本教理事より一名 教会聯合会 会長	湊 照彦 佐伯 良子
顧問	名譽宮司・名譽管長	十亀 興美
参与	名譽顧問・参与 常務総代・氏子総代・本教理事	浦松 大八・川西 久美 中西 幸男・吉田 宏 伊藤 光貞
常任理事	岡村 信一・沖野 和義・田窪 一善・高橋 亨・ 十亀 貴文・藤原 拓・高橋 省司・伊藤 一・ 加藤 法泰・岡本 嘉孝・山中 将史 組合長・神社総代・評議員・教会長・遙拝所長	
理事	〔組合長〕 藤本 敏男・佐伯 義明・小林 敏朗・ 山本 眞理子・坪内 統・山内 康治・出原 孝文・ 石田 和史・西原 善久・三吉 真司・梶原 倫子・ 田島 大悟 〔推薦総代〕 榎並 好美・日高 智美・水口 泉・ 澁谷 俊英・横林 誠・浦松 強八・平松 剛・ 伊藤 一成	
監査	〔評議員〕 入江 伸明・羽藤 繁雄・黒瀬 貴久・ 秋山 一幸・横田 一徳・安岡 桂一郎・森 文成・ 江藤 秀人・田辺 和彦・西田 幸子・加藤 保彦・ 越智 節子・湊 喜美子・木村 稔・井上 忠史・ 越智 汀祐・深川 健二・勝本 房利・山田 春治 〔教会長、遙拝所長 全員〕 記述略	
	秋山 一幸・入江 伸明	

(順不同・敬称略)

・ 監査以外で役職が重複する方は、上席記載しています。
・ 評議員は、準二等以上の教会の長の方です。

霊峰石鎚山 先進の会符を受けましょう!

先達とは、

先達(せんだつ)とは、石鎚山に親しむ、石鎚大神様の子供(氏子)です。

先達会符とは、

先達会符(えふ)とは、石鎚大神様の御神体、石鎚大神様の子供(氏子)の証明です。受けた方は氏子として一生、石鎚大神様のお守りを戴く、世界に唯一ご本人のみの御神札です。氏子は、御山開き大祭中の登山保護料が免除されます。

[信仰の氏子] ですので、氏神様の氏子、お寺様の檀家と重複してもかまいません。

先達会符は、

現在、男女合わせて約9万名あまりの先達会符が発行されています。

会符には、本人のみの[先達番号]、住所、氏名が記入され、石鎚神社の[先達台帳]に登録されます。

男性会符と女性会符とがあり、それぞれ家族、親族の方に代々引き継ぐものです。

小学校卒業の方で、石鎚山に3回以上登った方は、先達の会符を受けることができます。

子供会符は、

お子様の学業成就、健康、成長をお祈りします。

0歳児から小学校卒業までのお子様ならどなたでも受けられます。

小学校卒業後には先達会符への移行ができます。

先達階級とは、

御山に近づいた証し、御山に功績があった証しとして、参拝を重ねることにより、順次昇進します。昇進により、神様のご縁、お力を戴くご縁が深まります。

昇進初穂料は、祭典の神饌物、登山道整備、大祭での救護班の運営費等、御山開き大祭の公的費用として活用されます。



四月五日 石鎚神社春季例大祭さくら祭

去る四月五日(土)桜花爛漫の中、石鎚神社口之宮本社御本殿にて、春季例大祭・さくら祭りが盛大に斎行されました。



当日は、全国各地より多数の石鎚信徒を始め、御来賓に神社界政界各界よりのご参拝を賜り、午前十時より祭典を斎行。



祭典は「石鎚立螺之会」の皆様のお勇ましい立螺に始まり、神御衣献上撤下、初穂献上が奉られ、武智宮司が祝詞を奏上し、日々のご神恩に感謝すると共に五穀豊穡と国家の安泰、世界人類の福祉と平和を祈願しました。



続いて巫女が浦安の舞を奉納。また喜多浦八幡太鼓による天狗太鼓を奉納頂きました。喜多浦八幡太鼓は、睦美教会長田窪一善銀笏元老大顧問のお世話によりご奉納頂きました。誠にありがとうございます。



そして玉串を奉り拝礼し、今日の日をお祝い申し上げますと共に、それぞれの願い事を祈願して厳粛に祭典を終了致しました。

祭典後、神御衣が

- 山口県 吉見教会
- 愛媛県 上浮穴郡教会
- 福岡県 香春教会
- 引き続き辞令が
- 有功 神鏡笏 村上博章様
- 備後崇敬組合 西原喜久様
- 宮司推薦総代 伊藤一成様

導不動院進拝所
宮井キヌコ様に、それぞれ下付されました。



来賓祝辞として

西条市議会議員 武田功様よりご挨拶を頂戴しました。祭典後、神輿にご神像をお遷しして神輿渡御が行われ、こども樽神輿や敬神婦人会の花神輿、お稚児行列も賑やかに社務所前へ到着し、一回目のお餅撒きが行われました。



神輿が御旅所に着御すると、お旅所祭が執り行われ、



巫女による豊栄の舞や西田獅子舞保存会の獅子舞、敬神婦人会の「手踊り」と作詞作曲故新井満氏、秋川雅史氏が歌っている「石鎚山」が奉納されました。



その後、御神像は、本殿に還御、御神像拝戴がなされ、二回目のお餅撒きが本殿向拝より執り行われ、福木もその時に併せて撒かれました。

なお、お餅は
徳島県 東予崇敬組合徳島支部
支部長 武田 喜善 名誉部長
愛媛県 原井川 平

神鏡笏 元老大顧問



また、タオルは
愛媛県 今治越智崇敬組合
よりご奉納をいただきました。
有り難うございます。

福木投げの当選者
特賞一等 24型

ハイビジョンテレビ

高知市 久保 穂多瑠 様

特賞二等 サイクロン

クリーナー

四万十市 森田 茂 様

特賞三等 超軽量高圧洗浄機

須崎市 谷岡 美喜 様

特賞四等 壁掛け扇風機

西条市 星加 野乃 様

特賞五等 電気圧力鍋

福岡市 佐伯 はるか 様

特賞六等 音波振動歯ブラシ

西条市 伊藤 令子 様

特賞七等 高感度

F M / A M ラジオ

新居浜市 伊藤 瑠莉 様

境内では、石鎚敬神婦人会のお茶席のお接待が、本殿前休憩所にて行われ、ご参拝の皆様も憩いの一時を過ごされました。

今大祭で各方面にてご奉仕、ご奉納を賜りました豊友会、敬神婦人会、信徒の皆様方に

は何かとお忙しいにもかかわらず、誠心からのご奉仕をいただき、無事盛大に春季例大祭を斎行出来ましたことをこの場をお借り致しまして篤く御礼申し上げます、信徒皆様の今後益々のご健勝、ご多幸を心より祈念し、ご報告と致します。

記 事務員 野村 綾奈



お初穂奉納者

四月五日

石鎚神社春季例大祭

五万円以上ご奉納いただきました皆様

東雲講社 黒田 明子
(株)浦松興産 浦松 大八
大分市 中西 幸男
宇和島市 入江 伸明

◎七万円以上
福山市 赤坂教会

◎六万円以上
富海教会 松岡 英二

◎参拾六万円以上
大阪教会 湊 喜美子

◎貳拾万円以上
導不動院遙拝所 宮井キヌコ
大打山遙拝所 石崎 昌司

◎壹拾五万円以上
香春教会 川津 守秀
吉見教会 加藤 法泰

◎壹拾万円以上
睦美教会 田窪 一善
大分石鎚教会 江藤 秀人
吉田教会 越智 汀祐
霊威教会 中西 幸男
葉山教会 岡村 信一
和食教会 安岡桂一郎
神明遙拝所 大西サカエ

◎五万円以上
山南嘉和教会 岡本 嘉孝
佐川教会 佐川 抄織
門司教会 加藤 保彦
愛知遙拝所 澁谷恵美子
西条市 十亀 興美
みやこ郡 白石 順子
石鎚登山ロープウェイ(株) 伊藤 和豊
別府市 浦松 傳
習志野市 木村 篤子
喜多浦八幡太鼓育悠会
西条市 松本幸子・至弘
(順不同・敬称略)

五千元以上のお初穂奉納者につきましては、本社手水舎前に掲載させていただきます。

令和七年二月一日から四月十日まで

五万円以上ご奉納いただきました皆様

◎壹百萬元以上
福岡神和教会一同

◎壹拾万円以上
大分石鎚教会 江藤 秀人

◎五万円以上
香野 幸子
(順不同・敬称略)

また、本社での五千元以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。

提灯ご奉賛者
ご芳名

本社境内へ提灯献灯のご奉賛をいただきました皆様です。誠にありがとうございます。

愛媛県新居浜市 鈴木 一賢
八重子

広島県呉市 信用地建
村石 雅昭

(順不同・敬称略)

頂上社護持奉賛会
寄付者 芳名簿

令和 六年十二月 一日から
令和 七年 四月 十日まで
※ 五万円以上奉納者
(順不同・敬称略)

◆高知崇敬組合◆
参拾万円
高岡郡 佐川教会

◆東予崇敬組合◆
五万円以上
名古屋市 浅井一登至

◆安芸崇敬組合◆
五万円以上
西山講 寺西穂菜美

真心のご浄財を賜りました皆様には、ご奉賛心より厚くお礼を申し上げます。
尚、奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。
担当 大岡・岩本

御幕奉納

祖霊殿幕

奉納

令和七年二月二十二日

福岡神和教会 佐伯 良子



総合撰末社幕

奉納

令和七年三月吉日

船橋市 榊原 茂彦・誠子



(順不同・敬称略)

ご奉納誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

投げ餅ご奉納

石鎚神社本社 春の御大祭

東予崇敬組合 徳島支部

支部長 武田喜善 名誉部長

去る四月五日、石鎚神社本社の春の御大祭「さくら祭」に、東予崇敬組合徳島県支部の皆さまが、投げ餅を奉納されました。

石鎚大神様への献上の思いを込め、丹念に一つずつ作り上げてのご奉納です。

皆様の笑顔のご奉仕に、大神様もお喜び、大祭当日は実に盛大な餅投げとなりました。

深く御礼を申し上げます。の皆さまのご紹介と致します。

権宮司 十亀 博行

ご奉仕・ご奉納者

- | | |
|-------|-------|
| 武田 喜善 | 武田みどり |
| 藤本 敏男 | 藤本 園枝 |
| 平岡 明 | 平岡 武子 |
| 森岡 政和 | 森岡百合香 |
| 石田 修 | 河合 純子 |
| 梶浦 和恵 | 佐藤 幸子 |
| 住友 敬子 | 佐藤かつ子 |
| 藤本 幹世 | 藤本 悠織 |
| 丸岡 大輔 | 星川 弘明 |

(順不同・敬称略)

第五十八回 石鎚青少年 錬成会のお知らせ

左記載日程にて第五十八回石鎚青少年錬成会の開催を予定しております。

令和七年八月二日

八月五日(三泊四日)

集合場所 石鎚神社本社

定員 二〇名(予定)

参加対象 小学四年生〜中学生・高校生・大学生及び社会人

※プログラム・参加費などは六月に発表予定です。

※参加をご希望もしくはお問い合わせは石鎚神社本社までご連絡ください。六月ごろに申し込み要項・パンフレットを送付いたします。

※なお、参加申し込みは六月からを予定しております。

石鎚社でしかできない 最高の夏の思い出のイベント

第58回 石鎚青少年錬成会

開催予定日：令和7年8月2日(土)〜5日(火)

集え若人よ 山へ行こう

主催 石鎚本教・教会联合会
後援 石鎚神社・敬神婦人会・青年部
錬成会事務局 担当：曾我部

〒793-8555 愛媛県西条市西田甲797 (石鎚神社本社)

石鎚神社 本社 TEL 0897-55-4044
FAX 0897-55-7242
成就社 TEL 0897-59-0106

四月六日
祖霊殿 春季例大祭・合祀祭齋行

境内にある祖霊殿。石鎚山開 御案内

山の祖・役小角をはじめ社司・宮司、霊峰石鎚の為に力添えを戴きました先達・教師にして帰天されました方々をお祀りしており、毎年四月・十月の六日、午前十時より例大祭並びに合祀祭を齋行しています。

春季例大祭は桜花爛漫の中、関係御遺族・神社役員のご参列を戴き齋行されました。

合祀されました御霊の在りし日の面影を偲び、思い出の数々を顧みる中に凜としたお姿、また皆を導く大きな背中、優しいお顔を思い出しながら御霊安かれと祈念致しました。先達・教師の皆様が築かれました篤き志を、また優しき御心を継がれますことをお祈り申し上げます。

この度合祀されました新祭神をご紹介しますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

御案内

御遺族様には該当の命日月(毎月十五日、月次祭終了後・案内は月を先取りしています)に命日祭の御案内を差し上げています。住所変更あります方はご一報願います。

※祖霊殿春・秋例大祭のご案内は新祭神(合祀該当者)と過去三年以内に合祀された御遺族の方へ案内を差し上げております。以外の御遺族様も、是非とも御参列戴き、御霊和めの祭典を共に御奉仕したいと思えます。

春秋大祭・命日祭への数多くの御参列をお待ちしております。○先達会符の名義変更などお済みでない御遺族様、またご不明な点等ございましたら遠慮無く神社までご連絡下さい。

令和七年 四月六日
祖霊殿合祀祭神名

元老大顧問

有功 神鏡笏

中教正

猪俣 昇 大人命

元老大顧問

少教正

山崎 綾子 刀自命

元老大顧問

訓導

田中 國明 大人命

元老

岡 誉 大人命

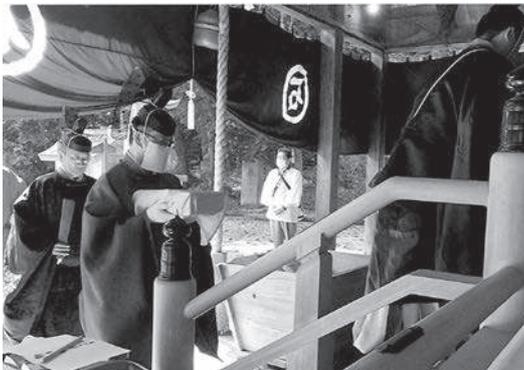
取締役

青木 邦子 刀自命

副取締役

門田 正 大人命

(順不同)



お山開き大祭 頂上社 御神酒奉納のご案内

「祈り、命蘇る」霊峰石鎚山のお山開き大祭が目前に迫って参りました。

頂上社では頂上社専用の御神酒(一升紙パック)のご奉納を募っております。



初穂料 金一〇,〇〇〇円

ご希望の方は下記に住所・氏名・電話番号・登拝日・郵送先をご記入の上、本社へFAXもしくは郵送にてお申し込み下さい。

大祭後、お下がりを送送いたします。準備の都合上、**締切は六月二十日**とさせていただきます。

奉納者のご芳名を頂上山荘内に掲示致しますので、取りまとめでお申し込みの方は、奉納者全員分の名簿をお知らせ下さい。尚、お下がりの発送先も忘れずご記入下さい。

お山開き大祭中、頂上へご登拝されます方は、登拝日もご記入下さい。

※毎年奉納されています方は例年通りご案内を発送させていただきますので、そちらをご活用下さい。

申込先

〒七九三一八五五五
愛媛県西条市西田甲七九七
石鎚神社頂上社御神酒奉納
担当 権禰宜 勝本貴大
TEL〇八九七―五五―四〇四四
FAX〇八九七―五五―七二四二



お山開き大祭 頂上社 御神酒奉納 申込書 令和 年 月 日

代表者	氏名		住所	
-----	----	--	----	--

〒

御神酒奉納者名簿 初穂料合計一金 円也

氏名		電話番号		郵送先 (○をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	直送・代表者へ
氏名		電話番号		郵送先 (○をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	直送・代表者へ
氏名		電話番号		郵送先 (○をお付け下さい)
住所	〒		登拝日	直送・代表者へ

1件(1人)につき10,000円 ◎送金方法 ①郵便振替 ②銀行送金 ③現金書留

石鎚敬神婦人会本部役員総会

二月二十日開催



島本貴代新会長



岡村加代子会長

去る二月二十日、石鎚神社本社におきまして会員二十八名、本社よりは武智宮司を始め常務総代・氏子総代・本教理事・組合長・教会長・遙拝所長など十六名の役員の方々のご出席をいただき総勢四十六名が参加の中、石鎚敬神婦人会本部役員総会が開催されました。

今年は寒波が襲来し底冷えする中、午前八時三十分から御本殿におきまして開会奉告祭・御神像拝戴の神事が執り

行われ、近日の冷え込みで朝から凜と張り詰めた空気の中、岡村会長を始め役員と参加の会員が心一つに御神像拝戴を奉仕し、滞りなく神事を取り納めました。
会場を神社会館に移し、本部役員総会が始まりました。



○議案審議事項
令和六年度事業報告
令和六年度決算書
役員改選について
令和七年度事業計画
(教化・研修・庶務・財務)

各部署 事業計画報告
令和七年度予算書
その他

石鎚本教創立八十周年奉賛

- ・会報『たかね』原稿の依頼
- ・春季例大祭の件
- ・事業品Tシャツ・バッグの販売促進の件
- ・お宮で文化祭の件
- ・『石鎚魔よけ猿』についてが審議され



議案審議事項はそれぞれ満場一致で承認されました。

○役員改選の件では、任期満了につき、岡村会長・江藤・平松両副会長が退任する事となり、島本貴代新会長・佐伯京子・石崎美智子・難波江千春・城戸留里子新副会長が新理事として石崎香代子・松木洋子・藤丸美代が就任する事が承認された。



石鎚山の伝統を継承すべく、多くの方にお求めいただければと思います。
○本年第五十八回の石鎚青少年錬成会錬成会は八月二日(土)～五日(火)三泊四日にて

○恒例のお宮で文化祭『奉納いしづち泣き相撲』は、今年五月六日(火)の予定です。
○新規事業品『石鎚魔よけ猿』は、石鎚みやげの伝統であります。神社会館にて今年五三五個販売致しました。

○記念事業「たかね」は会員皆さんで作る会報です。おかげ話、郷土料理、料理の簡単レシピ、民謡、俳句、短歌、家庭の知恵袋、などなど、お知らせ等投稿をお待ちしております。

○婦人会事業として国旗・会服・一筆箋・Tシャツ・バッグ・ジャージ・魔除け猿などの販売をしています。ご協力をお願いいたします。
詳しくは会報「たかね」をご覧ください。



行われる予定。敬神婦人会からも旅費の一部を一握り運動より助成しております。
○創立四十五周年の記念誌「石鎚山のおかげ話」はご依頼があれば贈呈いたします。
○春・秋の大祭にて花神輿のご奉仕ありがとうございます。今年も多くの会員と共に盛り上げたと思っております。ご参加を宜しくお願います。お茶席は、例年通り開催されます。多数のご来訪をお待ちしております。
○会費は敬神婦人会の活動資金です。納入をお願いします。



禰宜 大岡記

○また、「古切手」の収集を継続して行っています。海外の子供たちの予防接種等、医薬品を購入する資金となります。ご協力をお願いします。なお、切手につきましては周囲五ミリ以上離して、切り取ってお集め下さい。
発送は
石鎚神社 敬神婦人会 宛
へお願いします。

今年度も会長を扇の要として、会員一同心を一つに敬神婦人の輪を広げ、頑張ってくださいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願います。

本部役員改選

令和7年2月20日付

※任期4年 (敬称略)

事務局補佐	監査	理事										顧問										常任顧問	名誉会長	副会長			会長					
十亀 利江	武智 后代	松木 洋子	難波江 加代子	藤丸 美代	松木 洋子	石崎 香代子	藤本 幹世	肥田 真由美	湊 恵子	山内 福美	和田 絹代	山崎 英子	中山 礼子	平松 京子	江藤 ます子	叶 一美	黒田 明子	柳川 典子	松岡 莊美	金尾 美苗	大西 サカエ	十亀 悦子	武智 晴子	岡村 加代子	湊 喜美子	田窪 正子	城戸 留里子	難波江 千春	石崎 美智子	佐伯 京子	島本 貴代	現役員
愛媛	愛媛	愛媛	愛媛	福岡	愛媛	広島	徳島	愛媛	大阪	愛媛	高知	大分	高知	岡山	大分	愛媛	愛媛	愛媛	愛媛	広島	愛媛	愛媛	愛媛	高知	大阪	愛媛	岡山	愛媛	広島	福岡	大阪	府・県
橘	橘	橘	橘	福岡神和	橘	大打山	脇町	伊予	大阪	宇和	和食	大分石鎚	葉山	倉敷中央	大分石鎚	西宇和	中子	神愛	直轄	大心中津原	神明	橘	橘	葉山	大阪	睦美	倉敷中央	橘	大打山	福岡神和	大阪	支部
				新任	新任	新任								新任	新任										新任		新任	新任	新任	新任	新任	

福岡神和教会創立四十周年奉祝大祭

齋行

佐伯良子 教会長
最高功労章金笏
元老大顧問
大教正



〔日時〕二月二十二日(土)
午後二時

〔場所〕福岡神和教会

〔本社出向〕

- 武智宮司
- 十亀名誉宮司夫妻
- 中西名誉顧問
- 田窪常務総代・本教理事
- 山中本教理事
- 十亀権禰宜
- 曾我部権禰宜

右記にて福岡神和教会創立四十周年奉祝大祭が齋行されました。

当日昼頃は雪が降っておりましたが祭典前には雪が止み穏やかな気候の中での祭典となりました。

祭典は佐伯良子教会長、武智宮司が創立四十周年の御礼と日頃からの大神様のご加護に感謝を申し上げる祝詞を奏上、参列者が真心込めた玉串を奉り、滞ることなく齋了。

祭典後、佐伯良子教会長、佐伯京子副教会長をはじめ多くの方に感謝状、先達昇進、教師昇進の辞令が手渡されました。



福岡県に移った後も信仰を続け、福岡の方々の心の拠り所となり、亡くなられた後を佐伯良子先生が引き継がれ、昭和六十年故武智昭典名誉宮司の指導のもと遙拝所に、平成十一年十亀興美名誉宮司の指導のもと教会になり、教会長と信者さんが心一つに信仰を続け四十年の節目の年を迎えられました。

今後は佐伯良子教会長、佐伯京子副会長のお二人が力を合わせ、親から子、子から孫へと信仰が引き継がれること、ご参列頂きました皆様の今後のご健康、ご多幸を心より祈念させて頂きご報告とさせて頂きます。

記 権禰宜 曾我部洋輔

福岡神和教会は、佐伯良子教会長の慈母、佐伯タカエ命が石鎚神社の近くで生まれ育ち、石鎚神社を信仰しています。

四十周年奉祝大祭記念事業の一環として石鎚神社本社祖霊殿の太鼓の皮の張り替え、台座の新調、幕をご奉納頂きましたことをご報告致します。誠にありがとうございます。



感謝状、先達昇進、教師昇進をお渡しさせて頂きました皆様のお名前を順不同敬称略にて記載致します。

感謝状

佐伯 良子 教会長
佐伯 京子 副教会長

田中 宏昌
上廣 昭子

龍 大
龍 友紀

藤丸 美代
幸田 恵
山本 慈

先達昇進

元老顧問 幸田 千賀子
副大会長 山本 幸彦

大会長 中牟田 利子
大会長 青木 節子
大会長 中野 綾子

教師昇進 日高 知子
大訓導



大分石鎚教会
創立五十周年奉祝大祭
令和七年四月六日

祭主
教会長 江藤 秀人
功労章 銀笏
元老大顧問
権大教正



齋主
副教会長 江藤 幸二
特別大監長
権少教正



大分県大分市下郡の里に鎮座いたします大分石鎚教会にて教会創立五十周年奉祝大祭が斎行されました。

春、境内も桜花爛漫の中、沢山の信徒が集まり、扇の要として祭主を江藤秀人教会長、齋主を江藤幸二副教会長が、そして、地元大分石鎚教会の教師と親交のある教師が祭員奉仕、厳肅に大御扉開かれた神殿での奉祝大祭となりました。

普段より陰日向無く奉仕する信徒崇敬者、敬神婦人会の皆様のお力により素晴らしい雰囲気でした。

そして、祭典後には地元の深山流 豊饒神楽が奉納され石鎚大神様と一緒に楽しい時間を過ごしました。

信仰の歴史は長く昭和十五年に臼杵市より今の大分市下郡に御神像を奉斎し、昭和四十年に大分下郡遥拝所を創立、昭和四十九年に大分石鎚教会が創立されました。その時々々の御代表、江藤止大人命、江藤コナミ刀自命、江藤博治大人命、共に歩まれた大先達の皆様の心が繋がれ、今の江藤秀人教会長が中心となり大祭を迎えました。

大祭準備も大変だったと拝察いたしますが、皆さん素敵なお笑顔でした。今後とも石鎚大神様の御神徳を受けられ

健勝に、そして大分石鎚教会のご発展をお祈りいたします。
文責 禰宜 佐々木

感謝状

教会長 江藤 秀人

理事 渡辺 照魅

理事 竹内 昌一

先達 渡辺 昭男

敬神婦人会支部長

山崎 英子

敬神婦人会新支部長

篠田マチ子

敬神婦人会支部役員

渡辺 和子

大家五十鈴

先達昇進

監長 上野 春男

副大会長 衛藤 照男

副大取締 渡辺 昭男

副大取締 日野 英二

教師昇進

権少教正 江藤 幸二

権少講義 江藤 友広

権少講義 篠田 靖彦

権大訓導 平山 大成

(順不同敬称略)



獅子頭の祓い



深川流 豊饒神楽の奉納



愛媛県

南予崇敬組合総会 開催

組合長

山内 康治 元老顧問



開催支部西宇和支部長

有功神鏡笏拝受

山下 芳章 元老大顧問



去る三月二十二日、愛媛県八幡浜市に御鎮座の西宇和蓬拝所(西宇和支部)に於きまして、南予崇敬組合の大祭、並びに組合総会が開催されました。

当日は山内組合長を始め管内各所より役員、信徒の方々が多数集われる中、本社より武智宮司、高岡権禰宜、篠塚巫女、沖野常務総代が出向し厳肅に祭典、総会が執り行われました。

先ず祭儀では、西宇和進拝所長以下組合関係者、本社職員共に謹んでご奉仕し、後の総会では、組合の事業報告、次年度の事業計画、決算、予算の審議等円滑に進められ直会も和やかに親睦を深められていました。

次年は南・北宇和支部での開催(役員改選年)となっております。

今後も組合に関わる皆様のご健勝、ご多幸であります様また、多くの方々が大神様とのご縁を戴き、より良き道へと進まれます様お祈り申し上げます。

記 高岡

三月二十三日
石鎚神社 備後崇敬組合
令和六年度
定例総会開催

組合長

西原 善久

神鏡笏・元老大顧問



去る三月二十三日(日)広島県福山市の赤坂教会において午前十時より石鎚神社備後崇敬組合定例総会が開催されました。

当日は、穏やかな天気の中、備後崇敬組合管内各地より十三名が参集、石鎚神社よりは、大岡禰宜、田窪権禰宜が出席。

岡本嘉孝副組合長を議長として総会が執り行われました。

総会は、約二時間ほどお山開き大祭を中心に令和六年度事業報告並びに収支決算報告や令和七年度事業計画や予算案を審議承認。そして、役員改選が執り行われ

組合長 西原善久 神鏡笏・元老大顧問

副組合長 岡本嘉孝

元老大顧問

副組合長 会計長 事務局長
浅利伸吉 元老顧問
副組合長 監事
佐藤孝次 名誉部長

監事 箱崎芳香 副取締役の皆様が就任されました。新に就任された佐藤氏・箱崎氏は、今できる事をしていくと強い意志を感じました。

その後、懇親会が開催され終始和やかに終了しました。

備後崇敬組合が今年のお山開き大祭においてお下り一番の御神像奉持をご奉仕いただくことになり、お山開き大祭が盛大に且有意義に斎行されますことと、備後崇敬組合の益々のご活性、信徒皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ご報告と致します。

権禰宜 田窪 芳弘 記



中津原遙拝所開所六十五周年奉祝大祭 斎行

東洋大心崇敬組合總會 開催

石田和史
東洋大心崇敬組合長
元老大顧問
大講義



高原政明
中津原遙拝所長
功労章 銀笏
元老大顧問
権少教正



春の穏やかな気候を頂く令和七年三月二十二日午前九時三十分より岡山県春山遙拝所にて東洋大心崇敬組合總會と東洋大心教会例大祭、中津原遙拝所開所六十五周年奉祝大祭が斎行され、本社より武智宮司、吉田名誉顧問、曾我部権禰宜、篠塚巫女の四名が向しました。



九時三十分、東洋大心崇敬組合總會が石田組合長の挨拶により始まり、令和六年度の事業並びに会計を報告、令和

七年度の事業、会計の案が提示され無事承認されました。隔年で作法講習と太鼓講習をおこなっており、令和七年は作法講習が行われますので多くの方の参加をお待ちしております、との組合長の言葉にて総会は終了。

引き続き東洋大心教会例大祭、中津原遙拝所開所六十五周年奉祝大祭が行われ、高原遙拝所長、武智宮司の開所六十五周年の御礼と感謝の祝詞を奏上、参列者の方々が玉串を捧げ、参列者一同にて大祓詞を斉唱し祭典は滞る事無く斎了、祭典後には高原遙拝所長を始め多くの方に感謝状先達昇進、教師昇進の辞令が手渡されました。

祭典後には、祭典会場に机を並べて、参列者一同和氣藹々とした雰囲気にて直会が執り行われました。今後東洋大心崇敬組合は

石田組合長を、中津原遙拝所は高原遙拝所長を扇の要として今後の益々のご活躍と、参列されました皆様のご健康、ご多幸を祈念致しましてご報告と致します。

記 権禰宜 曾我部洋輔



感謝状、先達昇進、教師昇進をされた方々のお名前を順不同敬称略にて記載致します。



教師昇進
権少講義

松井 憲司

先達昇進
名誉部長
名誉大監長
特選部長
特別大監長
大監長

桑田 悦子
荒川 文字
西島 進
川相 蓉子
佐藤 秀治

感謝状
高原 政明
柴田 千重子
桑田 悦子



前号三、四月号の社報に
掲載しておりました
下関教会 八十周年奉祝大
祭の記事の中で、お名前に
誤りがありましたので関係
各位に深くお詫び申し上げ
訂正させていただきます。

お詫びと
訂正

お名前

(誤)

(正)

田邊和彦 ↓ 田邊和彦
田邊初吉 ↓ 田邊初吉
田邊紀江 ↓ 田邊紀江

(敬称略)

記 権禰宜 田窪 芳弘

訃報

恵良山真事教会

先達 元老大顧問

最高功労章 金笏

教師 権少教正

重見 幸男 大人命

数え・九十四才



恵良山真事教会の幹部として活躍をされた重見幸男元老大顧問、最高功労章金笏・大節分祭・星祭り祈願納め祭にはお元気なお姿で参列され、御神像拝戴のご奉仕もして頂きましたが、突然の訃報にただただ驚くばかりでした。

高縄山系に少し雪が残る中にも、日差しが差し込める三月一日。しめやかに告別式が執り行われ、色とりどりの

花々に囲まれ、ご家族・ご関係の皆様と久遠のお別れを申し上げます。

重見幸男大人命は、御尊父である重見熊平大人命の後ろ姿を拝し、昭和十七年に先達を拝命。昭和五十七年に元老大顧問・令和六年五月・恵良山真事教会の七十五周年祭に、これまでのご功績を称え、最高功労章金笏拝受。平成十三年には中予崇敬組合長を務められ、中予地区の教勢拡充に寄与されました。

石鎚神社への参拝時以外は畑仕事に精を出し、地域の皆様にも慕われたご生前のお姿は、告別式時の皆様のお話から感じる事ができました。

これからは高天原よりご家族、また神社本教・中予崇敬組合・恵良山真事教会の歩む道を見守って下さい。

重見幸男大人命の御霊安かれとお祈り申し上げます、ご報告と致します。

遺族 娘婿 藤村 真文 殿

記 権宮司 十亀

辞 令

備後崇敬組合

令和七年三月二十三日発令

組合長・教区長 西原 善久
有功 神鏡笏・元老大顧問



副組合長

岡本 嘉孝 元老大顧問

副組合長 会計長 事務局

浅利 伸吉 元老大顧問

副組合長 監事

佐藤 孝次 名誉部長

箱崎 芳香 副取締

(敬称略)

辞 令

宮司推薦総代・評議員

令和七年四月一日発令

伊藤 一成 大会長



(敬称略)

辞 令

香川県

導不動院選擇所

令和七年三月二十八日発令

所長・代表役員 大監長
宮井キヌコ



責任役員 監長

岩崎 法聖

責任役員 副大会長

毛利 真弓

責任役員 副監長

尾崎 一秀

責任役員 副大会長

香川 彰

監事 副大会長

佐伯 眞誌

監事 大取締

松原 影明

(敬称略)

文責 禰宜 佐々木

おいしいお土産情報 お届けします



西条で採れた生はちみつ♪
濃厚でおいしい♪
無添加、無農薬で安心。
早くも大人気です！

山のはちみつ230g
¥1944 (税込)

山のはちみつ250g
¥2376 (税込)



姫かつおスティック
¥280 (税込)

高知からの美味しいお土産。
選べる5種類
そのまま丸かじり！

ご当地ラーメン各種
¥300 (税込)



お手頃お土産♪
クスッと笑えるパッケージが
人気の秘密です(笑)



おいしすぎて全部買っちゃう！
ファンが増えつつあります♪
お手頃サイズで大人気！

石鎚あられ 3種 各¥250 (税込)

お問い合わせ：石鎚神社会館
0897-55-4168

山のタヌキの 徒然日記(一)

―プロローグ―

フア、あれから丁度一年早いものじゃ。ふとした思い付きで全国のお山を巡って、今し方石鎚山の七合目の成就に帰ってきたばかり。他所のお山を観てみるのも良いものじゃのう。もう三百年以上も住まわせて貰っているこのお山の素晴らしさにも新たに気づいたこともあった。

どこの霊山にもお宮やお寺さんがあって…。でも何じゃな。どのお山も自然環境がまた一つ変わりつつあり、同時に山頂を目指す人間様の在り方なども更なる展開の時を迎えておる。何せ「インバウンド」とかいう外国人さんが所によつては日本人より多いぐらい。そんな人間様も受け入れて、それぞれに特徴がある「祈りのお山」を麗しく後世に伝えていくのは、今を生きる人間様の務めじゃわい。

ん?! そうですね、この石鎚のお山にも神主さんや信者さんは言うまでもなく、そのお方らしい機転の利いた対応や善行なんぞを人知れず積んでおいでの方がおる。そんな話を聴くとタヌキのわしさえ元気になるし励まされもしよる。そうじゃ! 今回よりこの紙面を拝借して、徒然なるままに日を暮らしておるわしじゃが、心に移り行く素敵な事々を思い浮かぶままに書き留めていこうかのう。

「本社神札看板等」のこと



→ 手製の本社神符神札頒布棚
右の棚、どうじゃ? 中々良いじゃろう? しかもそれぞれ

のデザインが分かる様にアクリル板で仕切られており、更にその御守は、各アクリルブロック毎に箱状に取り換えが可能。つまり! 忙しい時でも迅速且つ確実にそのブロックを差替えることができる。まさに特許ものじゃわい!

で、これを作ったのは…業者さん! じゃのうて…

※勝本貴大権禰宜さん (向右)

※田窪芳弘権禰宜さん (向左)



続いて、この等身大というか畳一畳を超える大きさの神札・神符実物見本看板を発想して作成したのが…、そう、

神札・神符調整担当の勝本貴大権禰宜さん!



なんでも、これらの看板や棚を数台作ろうと専門の業者さんに見積を出したところ、材質や物は当然良いものの敢えて言うとうと、総計二百万円を優に超えていくので断念…。

しかあし! ここでめげないのが良いところ、現場の他の職員さんらの協力も得て、祈祷奉仕の合間を縫って数日をかけて作成したとのことじゃ。ホント、担当とは言え神主さんも色んなことをやらんとイカンのじゃのう。ご苦労様なことじゃわい。ファイト〜!

「中宮成就社境内 雪掻き」のこと

← 除雪中の境内の雪の壁

今年も成就社境内にも十数年振りは一メートル以上雪が積もった。授与所や組合棟の軒下なんぞ、雪掻きしないと屋根からの落雪と降雪で屋根まで雪が届く勢いじゃった。



こうなると、成就社常駐勤務の玉井安胤・瀧澤勝両権禰宜さんを始め、通年を通してご奉仕いただく、豊友会員の川之上一博先生、初谷忠彦先生、また深川兼臣先生、それに渡辺達也さんらも大変じゃ。

日にもよるが、朝一で三十分から一時間はブルドーザーやスコップなどで平均気温氷点下五度から十度のなかで額に汗を流すことになる。



それぞれにそれぞれの環境や立場で他にはない仕事も派生して来よる。

ちなみに、ロープウェイから成就社までの参道は、ロープウェイの職員さんが事前に半日以上もかけて手押しの除雪車で除雪してくれるので、真冬でも成就社までは、長靴や簡易アイゼンなどを用意すると参拝は可能じゃ。これまた皆さんご苦労様なことじゃわい。ファイター！

「石鎚山神社頂上山荘 高松駅支店」のこと

そう言えば、この石鎚山に帰ってくる途中、JR高松駅に寄った時のこと。そのコンコースに「石鎚神社頂上山荘高松支店」のプレートがあり、そのコーナーではアメ湯がふるまわれ、Tシャツなんぞの山荘グッズも販売されておった。わしもまさか、高松駅にこんなコーナーができているとはつゆ知らず、嬉しいやらびつくりするやら！



そこに詰めているお人の話を聴いていると、何でも頂上山荘スタッフのおひめ(本名・渡部由香)さんが、高松駅ビル「オルネ」の社長さんどご縁を得てJR四国ステ

ーションさんとコラボすることになったとか。

頂上山荘オリジナルグッズに記念のコラボティッシュ販売やパネル展示、またリーフレットも配られ、コンパクトながら十分な品揃えの支店になっとったわい。



今回のコンコースへの出店は、去る二月二十一日より二十四日までじゃったが、通年を通して駅ビル内の「メグルコーナー」では、石鎚神社頂上山荘でしか買えないグッズを販売しているとのこと。立ち寄られたお人から「高知駅にも出店して欲しい！」とのお声も♪

先ずはお山を知って貰うこと。じゃな。ファイター！
文責 相談員 曾我部英司

「WEBムー」【霊峰石鎚山で5機のUFO編隊を撮影】のご紹介

世界の謎と不思議に挑戦する「月刊ムー」に【霊峰石鎚山で5機のUFO編隊を撮影】と題し、カラー2ページ、モノクロ4ページで石鎚山が紹介されました。

「月刊ムー」はUFOや雪男など未確認動物(UMA)や超常現象などを紹介する日本一あやしい雑誌と巷では囁かれています。が、巷の噂とは違い、記事の通り取材記者は石鎚山やその歴史などもしっかりと調べられています。

今回は、山口県下関から毎月石鎚山へ月参りをされている、吉見教会加藤法泰教会長の写真に目が留まり取材の運びとなりました。

その後「月刊ムー1月号」に紹介され、その号の人気ランキング6位にランクインしました。2月には、同公式サイト「WEBムー」でも公開されアクセスランキング2位にランクインするなど多くの読者の目に留まったそうです。

WEB版は前編と後編の2部に分かれています。が、全てカラーでの掲載となっています。こちらは無料でご覧頂けますので、幅広い方々の目に留まることになり、石鎚山を更に多くの方に知ってもらえる機会となりました。大変喜ばしい限りです。

左記のQRコードもしくはアドレスを読み込んでいただけます。是非ご覧になって下さい。

文責 権禰宜 十亀雅史



〈前編〉

霊峰・石鎚山で5機のUFO編隊を撮影！
修験の山の発行飛翔体伝説が顕在した！
<https://web-mu.jp/paranormal/52737>



〈後編〉

石鎚山上空の「次元の亀裂」を感得！
UFO行者加藤法泰の神秘体験
<https://web-mu.jp/spiritual/52748>

石 鎚 社 報

〒七九三―八五五五
(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇―〇一八三六〇

【発行代表者】 武智 正人

【編集】 佐々木 規人

【印刷所】 プリ・キユウ・プレス

【購読料】 送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索



ISHIZUCHIJINJA
石鎚神社
インスタグラム



石鎚神社
フェイスブック